



第44期

事業報告、連結計算書類

単体の計算書類ご報告

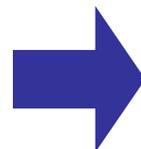
事業報告

企業集団の現況に関する事項

詳細につきましては、招集ご通知の2頁から25頁をご参照下さい。

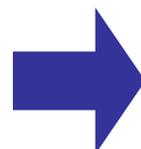
世界経済

米国 欧州財政危機・財政赤字問題



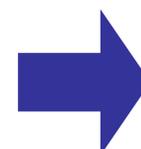
景気減速懸念拡大

欧州 金融システム不安の高まり



景気低迷

東アジア 新興国の金融引き締め策
タイ洪水



景気下押し

減速基調にて推移

国内経済

東日本大震災の影響により
景気は急速に落ち込む

復興需要により
景気は回復の動きを見せたが...

- 欧州財政危機問題
- 円高の進展
- タイ洪水の影響

先行き不透明な状況

エレクトロニクス業界

- スマートフォン・タブレット等モバイル端末関連需要拡大
- 地デジ放送開始による薄型テレビの駆け込み需要

- 夏場以降の薄型テレビを中心とする民生機器の消費減少
- タイ洪水による生産活動の減少



電子部品や半導体の供給に影響

当社グループ

経営理念

すべてはお客様のために



1. グループ全体の機動的な運営・効率化
2. 組織変更 ・ グループ連携強化
3. 新商材の開拓・取扱商品の充実

連結業績

	金額（百万円）	前年同期比
売上高	229,856	▲3.3%
営業利益	2,067	▲39.6%
経常利益	2,569	▲28.6%
当期純利益	914	▲48.3%

国内関係会社

加賀テック株式会社
KAGA TECH CO.,LTD.

 加賀デバイス株式会社

KGCOMP
加賀コンポーネント株式会社

加賀ソルネット株式会社

加賀エデュケーショナルマーケティング株式会社
加賀テクノサービス株式会社

AD **DEVICE**

 加賀クリエイト株式会社

 Micro Solution CO.,LTD.

 Digital Media Lab.

株式会社アクセスゲームズ

 加賀スポーツ株式会社

 加賀ハイテック
加賀エージェンシー株式会社



加賀アミューズメント株式会社

WORKBIT
www.workbit.co.jp

 株式会社 エスアイ エレクトロニクス



エー・ディ・エム株式会社

株式
会社 **サイバーフロント**
株式会社ドリームス

海外関係会社

 KAGA ELECTRONICS (USA) INC.

 KAGA (EUROPE) ELECTRONICS LTD.

 加賀電子(香港)

 港加賀電子(深圳)有限公司



KAGA DEVICES

加賀電子グループ

 KAGA (KOREA)

 KAGA (SINGAPORE)

 台湾加賀電子

 KAGA (SHANGHAI)

 KAGA ELECTRONICS (THAILAND) CO.,LTD.

 KAGA (DALIAN) ELECTRONICS CO.,LTD.

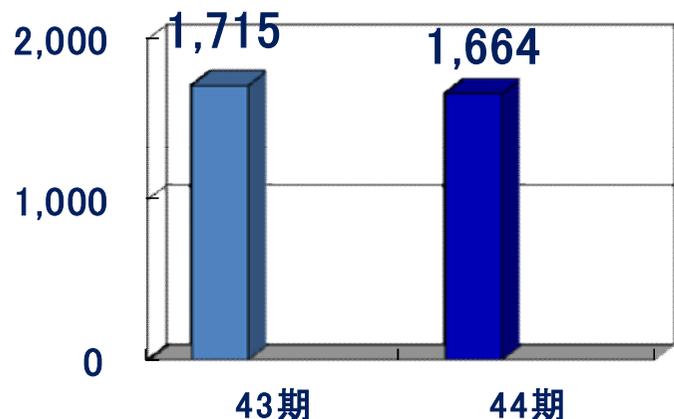
N.BHD.

合計52社

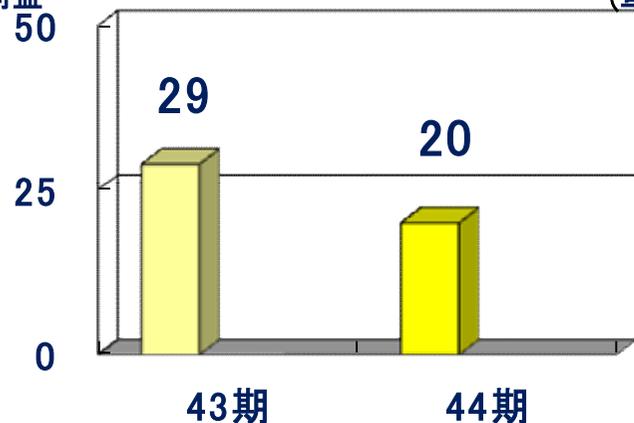
CyberFront Korea Corporation
AD DEVICE(H.K.)LIMITED
KAGA AMUSEMENT MALAYSIA SDN.BHD.
KAGA DEVICES INDIA PRIVATE LIMITED

電子部品事業

売上高 (単位: 億円)



セグメント利益 (単位: 億円)



震災による半導体・電子部品不足の中、国内外の独自ルートから調達、顧客へ拡販

タイ洪水浸水被害に対し、中国の自社工場への生産移管等迅速に対応

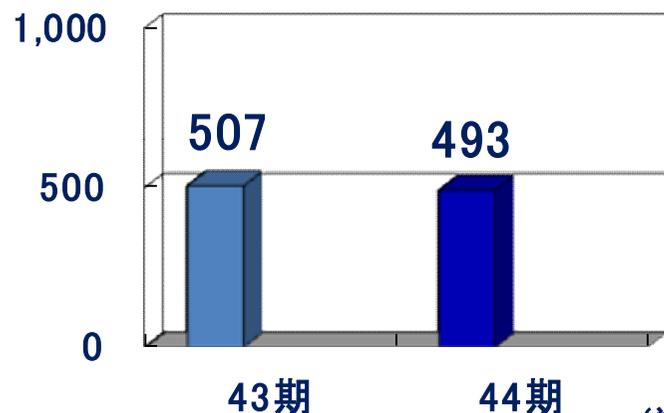
取引先メーカーの生産調整による受注減



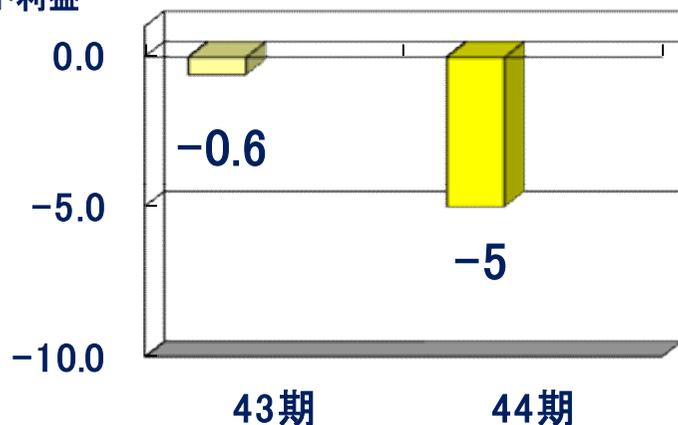
売上高	1,664億円 (3.0%減)
セグメント利益	20億円 (30.3%減)

情報機器事業

売上高 (単位: 億円)



セグメント利益 (単位: 億円)



震災・夏場以降の民生機器消費落込み

タイ洪水による取扱商品の生産減

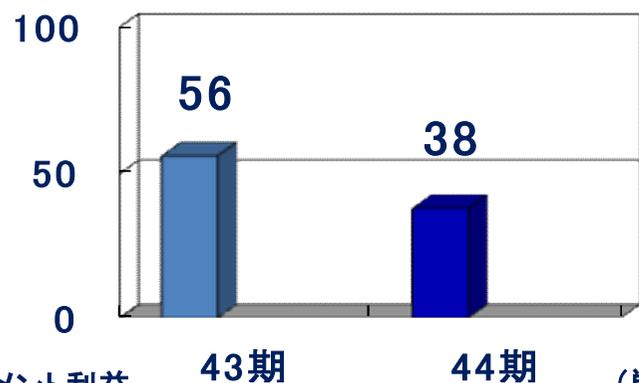


売上高 493億円 (2.7%減)

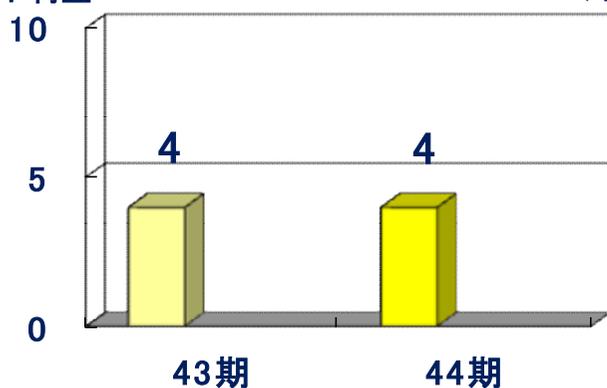
セグメント損失 5億円

ソフトウェア事業

売上高 (単位: 億円)



セグメント利益 (単位: 億円)



アニメーションCG製作

ゲーム・アプリケーションソフト販売

開発期間の長期化や販売時期の延期

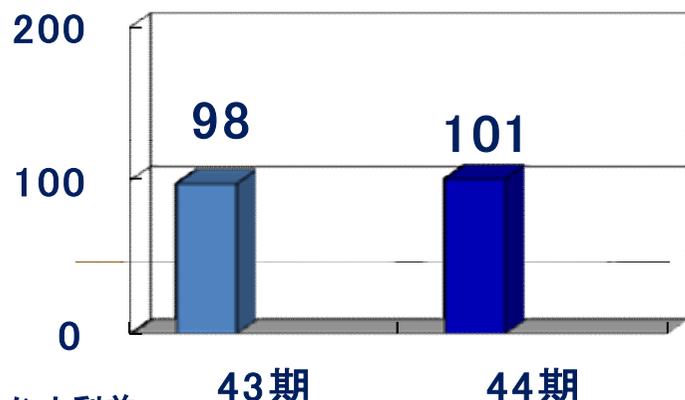


売上高 38億円(32.2%減)

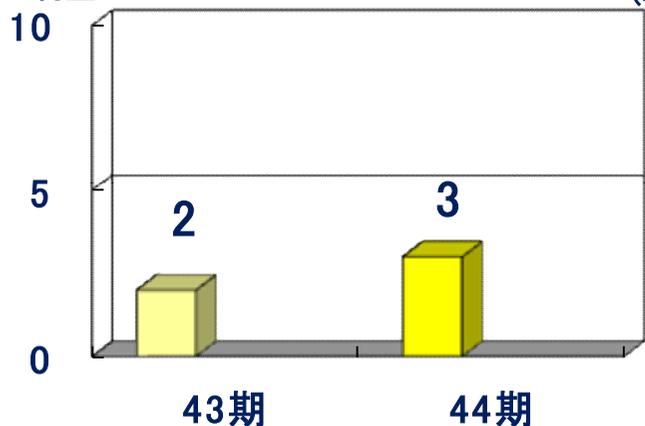
セグメント利益 4億円(17.4%減)

その他事業

売上高 (単位: 億円)



セグメント利益 (単位: 億円)



ゴルフ用品販売事業不振

期後半にはアミューズメント機器など
精力的な営業活動により受注回復



売上高 101億円 (3.8%増)

セグメント利益 3億円 (38.9%増)

セグメント別売上状況

その他



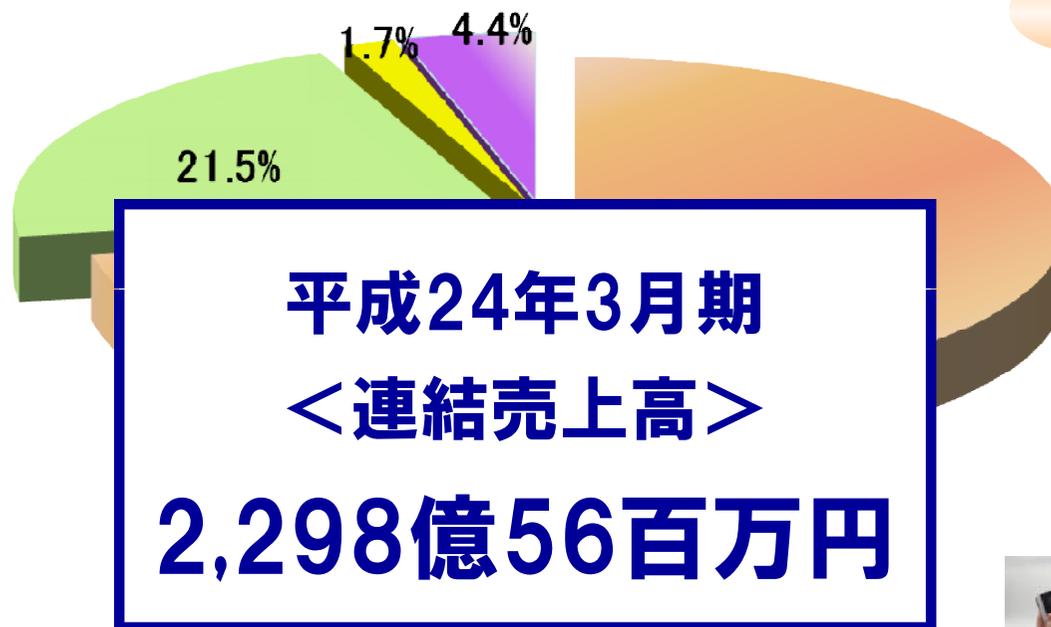
ソフトウェア事業



電子部品事業



情報機器事業



平成24年3月期
 <連結売上高>
 2,298億56百万円

直前3事業年度の財産及び損益の状況	・・・5ページ
重要な親会社及び子会社の状況	・・・6ページから9ページ
主要な事業内容	・・・12ページから14ページ
使用人の状況、主要な借入先の状況	・・・15ページ
会社の現況	・・・16ページから25ページ

連結貸借対照表

詳細につきましては、招集ご通知の 26頁 をご参照下さい。

連結貸借対照表

1株当たりの純資産額

1,681円73銭
(15円82銭 減)

自己資本比率

40.5% (0.4%減)

		43期	44期	増減
資産の部	流動資産	928	943	15
	固定資産	218	203	△15
	資産合計	1,146	1,147	1
負債及び純資産の部	流動負債	569	594	25
	固定負債	90	73	△17
	負債合計	660	667	7
	株主資本	497	497	0
	資本金	121	121	0
	資本剰余金	139	139	0
	利益剰余金	250	250	0
	自己株式	△13	△13	0
	その他の包括利益累計額	△28	△33	△5
	新株予約権	0	0	0
	少数株主持分	16	15	△1
純資産合計	485	479	△6	
負債純資産合計	1,146	1,147	1	

連結損益計算書

詳細につきましては、招集ご通知の 27頁 をご参照下さい。

連結損益計算書

(単位:億円)

1株当たりの当期純利益
33円13銭

	43期	44期	増減
売上高	2,378	2,298	△80
売上総利益	305	285	△20
販売管理費	271	264	△7
営業利益	34	20	△14
営業外損益	2	6	4
経常利益	36	26	△10
特別損益	△4	2	6
税金等調整前当期純利益	32	28	△4
当期純利益	18	9	△9

単体貸借対照表

詳細につきましては、招集ご通知の 39頁 をご参照下さい。

単体貸借対照表

1株当たりの純資産額

1,281円99銭
(52円73銭増)

自己資本比率

46.9% (0.3%減)

		43期	44期	増減
資産の部	流動資産	526	572	46
	固定資産	192	182	△10
	資産合計	718	754	36
負債及び純資産の部	流動負債	314	350	36
	固定負債	64	50	△14
	負債合計	379	401	22
	株主資本	341	359	18
	資本金	121	121	0
	資本剰余金	139	139	0
	利益剰余金	94	112	18
	自己株式	△13	△13	0
	評価・換算差額等	△2	△5	△3
	純資産合計	339	353	14
負債純資産合計		718	754	36

単体損益計算書

詳細につきましては、招集ご通知の 40頁 をご参照下さい。

単体損益計算書

(単位:億円)

1株当たりの当期純利益
95円90銭

	43期	44期	増減
売上高	951	951	0
売上総利益	99	93	△6
販売管理費	88	86	△2
営業利益	11	7	△4
営業外損益	17	40	23
経常利益	28	47	19
特別損益	△3	△13	△10
税引前当期純利益	25	34	9
当期純利益	20	26	6

対処すべき課題

詳細につきましては、招集ご通知の 9～11頁 をご参照下さい。

連結子会社における不適切な取引及び 会計処理に関する再発防止策について

当連結会計年度において、当社連結子会社である加賀ハイテック株式会社(以下、加賀ハイテック)における不適切な取引及び会計処理が判明し、外部の有識者を加えた調査委員会を設置し全容の解明に取り組みました。

調査委員会からの再発防止策の提言を受け、継続的な再発防止策を推進し、グループ全体のコンプライアンスの徹底とガバナンスの強化に努めてまいります。

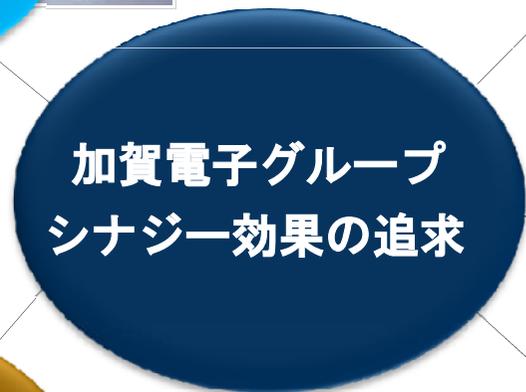
再発防止策につきましては招集ご通知10頁をご参照ください。

当面の対処すべき課題

- ① 経営効率を高めるためのグループ統治体制の整備
- ② グループ会社間の連携および協業化・相互支援体制の強化によるシナジー効果
- ③ 海外事業の促進および海外拠点の強化
- ④ 技術力の強化、迅速な情報収集力の充実
- ⑤ 業績不振子会社の立直し
- ⑥ 環境問題への取り組み
- ⑦ 内部統制システムの運用徹底

グループ会社間の連携および協業化・相互支援体制の強化によるシナジー効果

4月よりビジネスユニット担当役員(BU長)の大幅な入れ替えを行いました。組織の活性化を図り、新たなビジネスを創造します。



コンポーネントBU

電子事業部他当社の基礎となる
部品ビジネス
(戦略)
大手顧客との関係強化
ECO関係市場へのアプローチ
海外生産・海外開発への対応
新興国へのアプローチ



マニュファクチャリングBU

メーカー機能を活用した物作りビジネス
(戦略)
グループのEDMS受託部門へ
製品の設計開発から生産まで
自社工場の有効活用



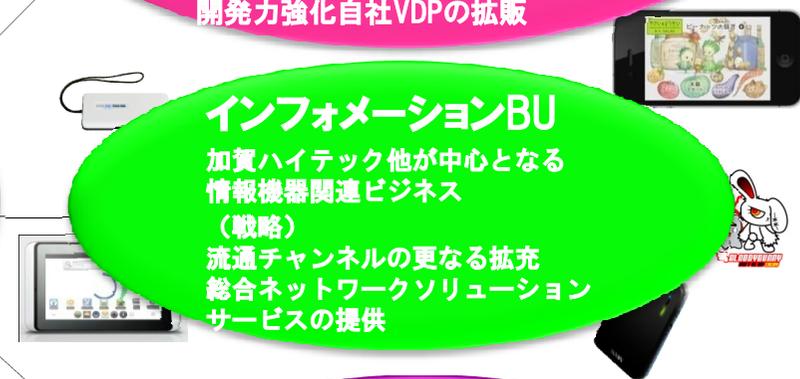
エンターテイメントBU

特機事業部が中心となるアミューズメント
業界向けビジネス
(戦略)
恒久的新規商品の提案ソフトウェア企画
開発力強化自社VDPの拡販



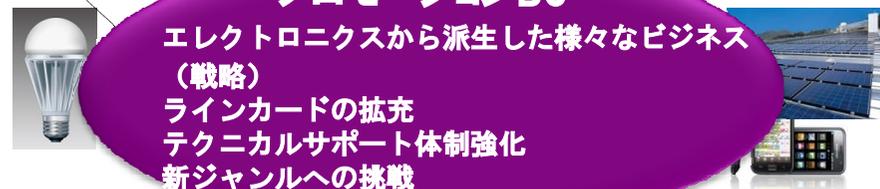
インフォメーションBU

加賀ハイテック他が中心となる
情報機器関連ビジネス
(戦略)
流通チャンネルの更なる拡充
総合ネットワークソリューション
サービスの提供



プロモーションBU

エレクトロニクスから派生した様々なビジネス
(戦略)
ラインカードの拡充
テクニカルサポート体制強化
新ジャンルへの挑戦



海外事業の促進および海外拠点の強化



加賀電子グループ 52社(国内24社/海外28社)

※加賀電子(株)含む

加賀デバイス インド
平成23年7月設立



加賀シンガポール
インドネシア事務所
平成24年2月開設



加賀アミューズメント マレーシア
平成23年12月設立



加賀シンガポール
フィリピン事務所
平成24年3月開設



＜アマタナコン工場の概要＞

所在地 : タイ チョンブリ県 / アマタナコン

生産品目 : PCBA

(主に事務機器、空調機器、車載用基板)

敷地面積 : 10,144㎡

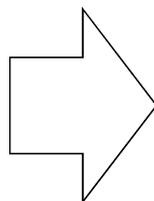
建屋面積 : 5,250㎡

従業員数 : 249名 (平成24年6月1日時点)

稼働開始 : 平成24年2月



洪水時のアユタヤ工場



アマタナコン新工場



業績不振子会社の立直し

経営効率を高め、業務改革を推進

収益環境に見合った事業体制の整備



全社黒字化を目標に経営努力

環境関連商品のニーズ増加 → 地球温暖化への意識向上・コストメリット

環境関連商品の展開

■ 背景

- ・世界的な地球環境への危惧 → 各国による温暖化ガスの削減目標
- ・コストメリット → 従来品に比べ「消費電力」や「耐久性」などにメリット
- ・国内電力不足による省エネ商品への需要急伸

Gr事業戦略室を中心に、加賀電子グループを挙げて、環境関連ビジネスを推進

1. LED照明

- ・・・ 低消費電力・高寿命 → コンビニエンスストアやチェーン展開店へ

2. 太陽光発電

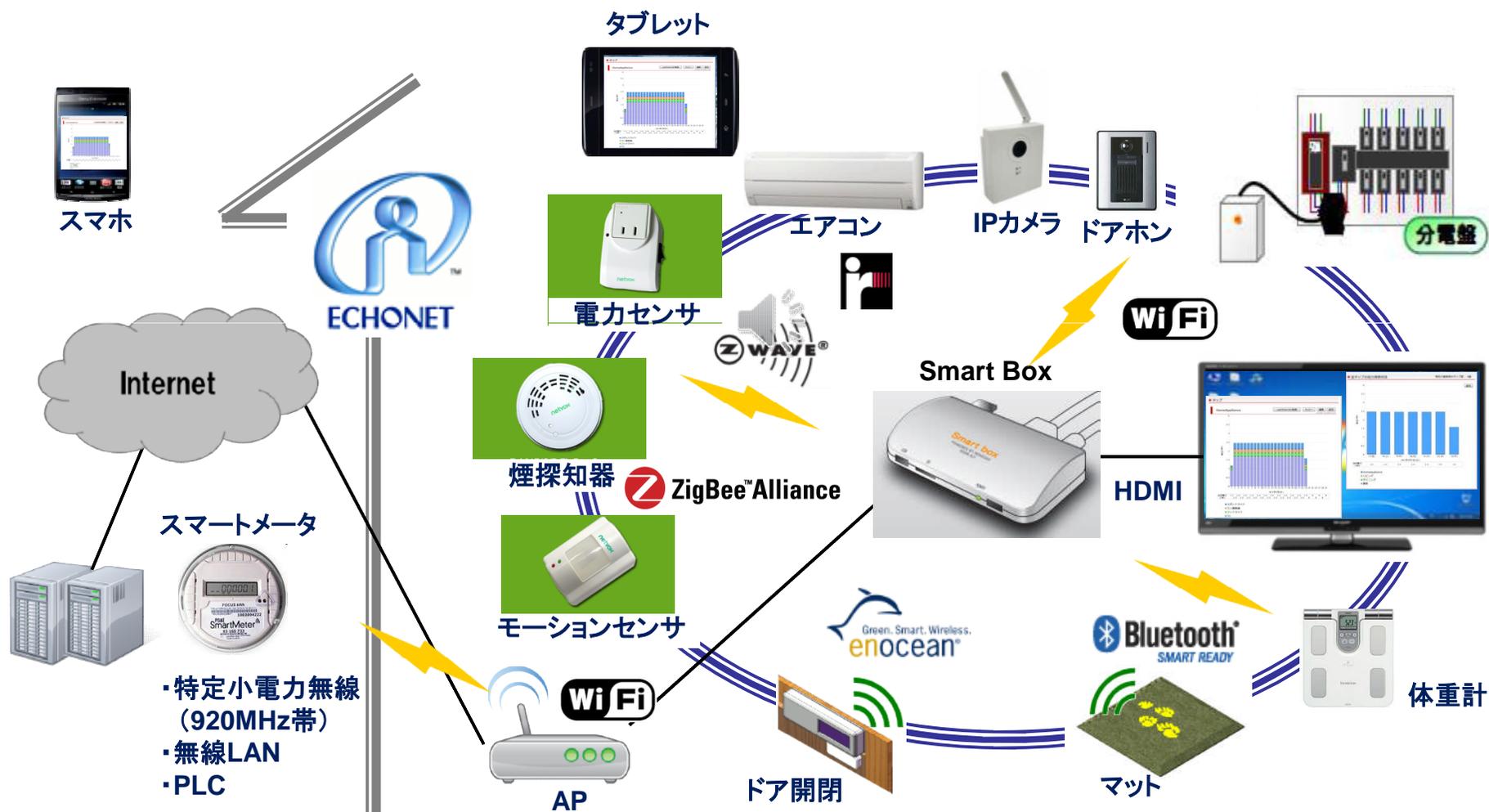
- ・・・ 自家発電による光熱費の削減 → 一般企業からご家庭へ

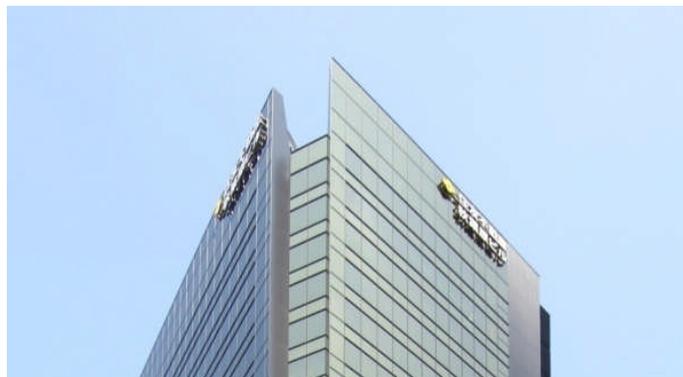
3. スマートグリッド・HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)

- ・・・ 照明、空調を自動制御 → アミューズメント施設からご家庭へ

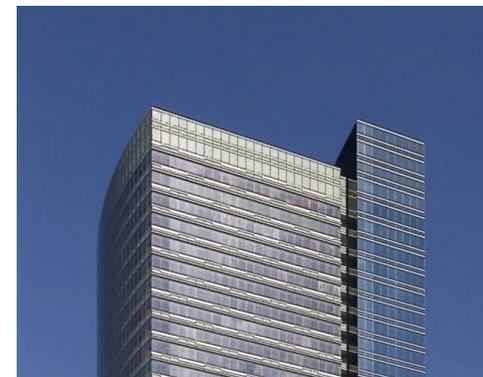


ホーム・エネルギー・マネジメント・システム(HEMS)ソリューションイメージ





アマタナコン工場(タイ)



エレクトロニクスに関する
あらゆるお客様のご要望にお応えします



加賀電子グループ本社ビル



マイクロソリューション(山形工場)



加賀香港



すべてはお客様のために

人、未来、エレクトロニクス…
 **加賀電子グループ**